

不燃化技術研究組合（略称：NOCTER）の概要

設立年月日：平成28年2月18日

理事長：浅野 成昭（株式会社アサノ不燃 代表取締役社長）

組合員：(株)アサノ不燃、(株) JSP、(有) E. P. A 環境変換装置建築研究所、他【計6企業】

事業費：平成28年度 700万円

事業の概要：不燃化素材技術研究開発

（英文名－Non-combustible Technology Research & Development Association）

～サブテーマ＝延焼を抑えて、煙と有害ガスを抑制する＝3C:controllable 三つを抑制する～

○組合設立の目的

火災時、人は煙や有毒ガスで命を失う。また、炎で財産を失う。延焼を抑え、煙や有毒ガスの発生を抑制する不燃化素材の研究開発を進めることで、木材や石油化学系素材等の新たな市場を切り開くとともに、多くの人命、財産を護り、社会福祉と都市防災機能の向上に貢献する。

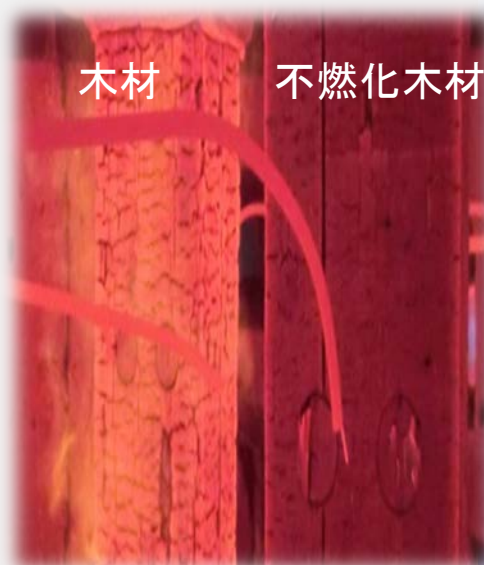
○実用化の方向性

延焼を抑え、煙や有害ガスを抑制する「セルフネン技術(※)」をコア技術として更なる研究開発を進め、多くの不燃化素材を実用化する。併せて、火災時における人命と財産を護るための新しい安全・安心指標を作成する。以って、多くの災害リスクを抱える日本からグローバル市場に向けてこの不燃化素材による新しい安全・安心文化を発信する。

※ 関連特許番号：3485914/3538194

○事業化の目途の時期

初年度は、木造耐火建築物用構造材及び内装材・外装材並びに木造密集地域用火災対応木質素材、発泡プラスチック等の不燃化に取組み、指標化作成のための基礎データ収集と研究開発を行う。次年度は、研究開発の継続に加え、開発した素材の適切なコストの算出、品質マネジメントの構築・運用に取り組み、商品化を進める。3年目以降は、新たな市場の創出を念頭に置いた研究開発と市場開拓を推進する。



木造耐火建築物用 2時間耐火実験



資料写真：
木造耐火 中高層建築物イメージ

不燃化技術研究組合 (略称: NOCTER)

総会

理事会

不燃化素材検討委員会

都市防災市場

天然素材 WG

- 木材系素材開発及び
非木材系商品市場性評価
- ・木造耐火建築物用構造材
 - ・内装材・外装材
 - ・木造密集地域用火災対応素材

素材-CLT.LVL集成材

- ・木造1時間耐火(柱/梁)素材開発
- ・木造2時間耐火(柱/梁)素材開発
- ・内装材不燃化技術開発
- ・外装材不燃化技術開発
- ・燃焼事象のデータベース構築

(有) E.P.A
環境変換装置建築研究所



不燃化処理液
セルフネン※

不燃化
処理液
開発
WG

薬剤-ホウ酸系

- ・素材別相溶性の検証
- ・素材別薬剤の調製
- ・生産工程の最適化

(株) アサノ不燃

都市防災市場

化石資源素材 WG

- 合成樹脂系素材開発
- ・発泡プラスチック素材
 - ・発泡ウレタン素材
 - ・人工木材

素材-石化樹脂材

- ・不燃化発泡プラスチック素材開発
- ・不燃化発泡ウレタン素材開発
- ・人工木材不燃化技術開発
- ・燃焼事象のデータベース構築

(株) JSP

発泡ウレタン 不燃化発泡ウレタン



- ✓ 業務提携による指導支援
- ✓ 技術情報等相互提供と共有化
- ✓ 新規・追加大臣認定取得支援
- ✓ 市場調査等の委託
- ✓ 普及促進支援

行政機関研究所
及び
検証実験施設等

ホーチキ(株)

東京理科大学
総合火災研究所

国立研究開発法人
建築研究所

国立研究開発法人
森林総合研究所

一般財団法人
建材試験センター

一般社団法人
都市防災不燃化協会

エコシス・
コンサルティング(株)

その他**

その他**とは:
次年度以降の活動推進にあわせ、WGの拡充を目的に新規入会
する企業等